

応募資料作成要領

1. 応募に必要な書類

応募にあたっては、建設系スタートアップ技術（製品・サービス）の情報を「応募様式」に記載していただくことが必要となります。

2. カタログ掲載対象技術

下記の募集条件を満たす企業・技術を対象とします。

- ・設立 15 年目以内の企業（2011 年 4 月 1 日以降に設立の企業）であること。
- ・建設現場で利用できる技術（製品・サービス）であること。ただし単独で使えない要素技術は対象としない。
- ・開発段階、実証段階ではなく、実際に建設現場で利用可能な段階の技術（製品・サービス）であること。

3. カタログ掲載対象外技術

本カタログは、広く建設現場で活用されるために策定するため、現在開発中、実証中の技術は対象外としております。

4. カタログ様式の記載要領

応募様式（excel）の「カタログ」シートに下記の要領を基に技術の情報を記載してください。

<全般>

- ・合計 A4 縦 2 枚となるよう、製品・サービス名～【コスト】までを 1 枚目に収め、【導入効果】から技術に関する HP リンクまでを 2 枚目に収めるようお願いします。
- ・行や列の幅は変更しないようお願いいたします。

①. 製品・サービス内容（3～4 行目）<必須>

上段には製品・サービス内容の説明を、下段には「製品名・サービス名」を記載してください。

②. 企業名・設立年（6～7 行目）<必須>

企業名及び設立年を記載してください。また、印刷欄外に設立年月日を記載してください。

③. PR のポイント（10～12 行目）<必須>

2～3 行で簡潔に対象技術の PR ポイントを記載してください。
箇条書き、文章等、形式を問いません。

④. 技術の概要（15 行目）<必須>

該当技術の概要を記載してください。
箇条書き、文章等、形式を問いません。

⑤. 概要図（17～26 行目）＜任意＞

概要図等を張り付けください。可能な限り高画質データでの貼り付けをお願いします。

⑥. 技術の適用条件・範囲（29～31 行目）＜必須＞

2～3 行で簡潔に技術の適用条件・範囲について記載してください。

⑦. コスト（33～37 行目）＜必須＞

可能な限り記載してください。見積対応や非公開としている場合等はその旨を記載してください。

A) 試算条件

記載例：自社歩掛り。 使用台数、日数により計算。 等

B) イニシャルコスト

記載例：本体価格〇〇円。 初期費用〇〇円。 等

C) ランニングコスト

記載例：保守費用年間〇〇円。 対象台数に応じて都度見積。 等

⑧. 導入効果（40～48 行目）＜任意＞

導入により導入先が得られる効果を記載してください。

⑨. 導入実績（51～56 行目）＜任意＞

当該技術の導入実績があれば記載してください。

(ア) 導入先

記載例：ゼネコン 等

(イ) 導入範囲

記載例：地方整備局発注工事 等

(ウ) 導入年度

記載例：2025 年度

(エ) 導入事業者からのコメント

導入事業者名を伏せての記載で問題ありません。コメントがあれば記載してください。

⑩. NETIS 登録番号（59 行目）＜任意＞

当該技術に関して NETIS 登録を行っていれば、記載してください。

※正式な登録番号を末尾まで記入ください。

記載例：KT-〇〇〇〇〇〇-VE 等

⑪. 受賞実績（61 行目）＜任意＞

当該技術に関して受賞実績があれば、記載してください。

記載例；令和〇年ロボット大賞受賞 等

⑫. 特許取得状況（63行目）＜任意＞

当該技術に関して特許を取得していれば、記載してください。

記載例：特許第〇〇〇〇〇〇〇号（公開日：2026年1月7日） 等

⑬. その他（65行目）＜任意＞

その他雑誌やニュースで取り上げられた等、記載できる情報があれば記載してください。

⑭. 活用段階（67～68行目）＜必須＞

該当する項目に着色ください。複数選択可能です。

⑮. 適用工種（70～71行目）＜必須＞

該当する項目に着色ください。複数選択可能です。

⑯. 要素（73～74行目）＜必須＞

該当する項目に着色ください。複数選択可能です。

⑰. 技術に関する HP リンク（76行目）＜任意＞

技術に関する HP があれば、リンクを記載してください。

5. その他

記載完了後は、HP に掲載の連絡先（メールアドレス）まで送付をお願いします。